

表-6.12.1.1(1) 陸域生態系の調査概要 (その7)

調査方法	エ)小型コウモリ類	<p>獣した。各コロニーで最低 30 個体から試料採取した。分析は小型コウモリの皮膚を用いた、LAZARO M. ECENIQUE-DIAZ et al( 2002) の手法にいくつかの改良を加えた方法を採用した。皮膚の採取には、先端に円筒状の刃が付いた生体組織検査用の器具 (カッターパンチ) を用いた。</p> <p>[現地調査]</p> <p>(ア)事業実施区域及びその周辺における生息ならびに利用状況 調査方法は既存の現地調査と同じものの他に採餌域調査ではテレメトリーによる調査もあわせて実施した。</p> <p>(イ)洞窟内の環境 調査方法は既存の現地調査と同じとした。</p> <p>(ウ)石垣島全域における小型コウモリ類の生息実態と洞窟間の移動 調査方法は既存の現地調査と同じとした。</p> <p>(エ)集団遺伝学分析 調査方法は既存の現地調査と同じとした。</p>
	③生態系の機能と構造	<p>[既存の現地調査] [現地調査]</p> <p>平成13年、平成14年及び平成15年の動物相、植物相、地形及び土壌動物調査の結果を集約するとともに、既存の知見から類推。</p>